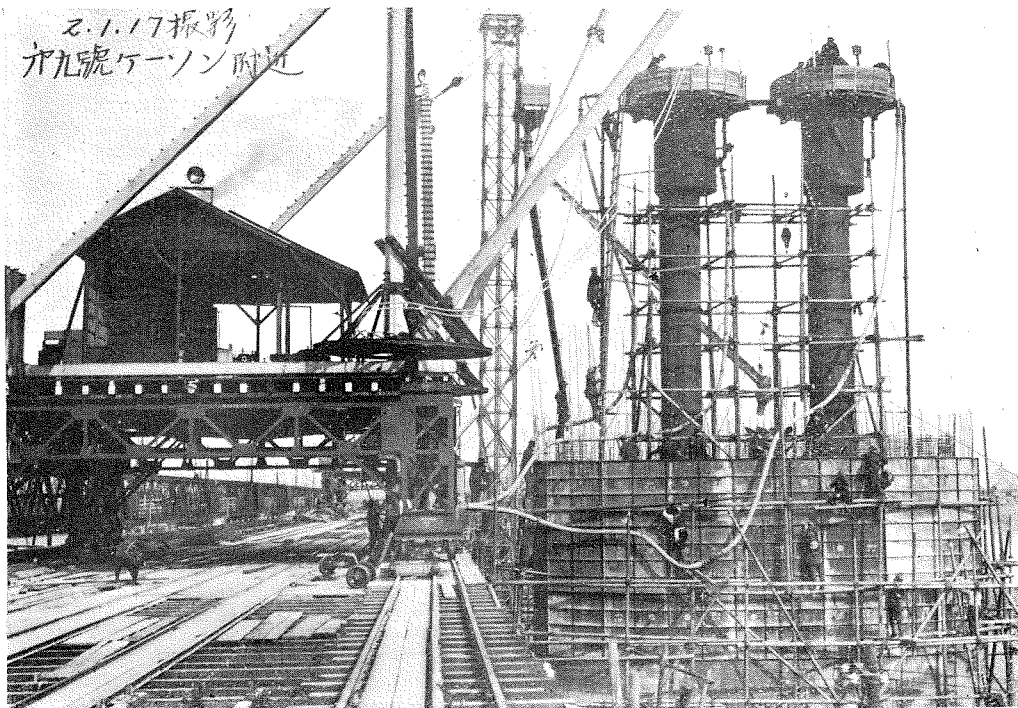


木曾川ケーソン工事……(前號の續)

Kisogawa Caisson Work Continued.



(25) 第九號ケーソン工事中 (2-1-17)

(25) General View of No. 9 Caisson, Reinforcement and Forms are just Assembling, Jan. 17, 1927.

(圖の番號は前號に續く)

25圖右方はケーソンの鐵筋組立及びコンクリート型枠組立中にして、ニューマチックチャンパーに通ずる二本のシャフト及びシャフト上端のエアロック取付中である。

左方は工事用棧臺にして約40尺平方の上にデリーック 2臺、及び之を運轉すべきウインチ 4臺を備へ、30馬力ステームインヂン 2臺を原動力とする。

→(26) 完成せるケーソン (2-1-11)

(26) Completed Caisson, Jan. 11, 1927.

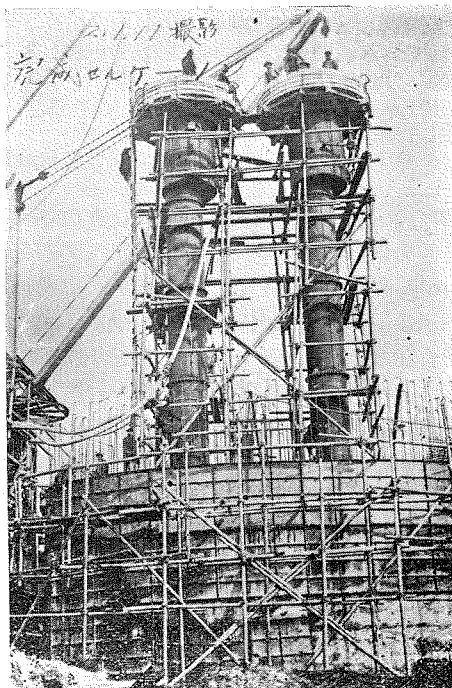
26圖ケーソンのエアチャンパーに通ずるシャフトは徑 48吋、一本の長さ10呎 $\frac{1}{2}$ 吋で、ケーソンの沈下に應じ之を一本宛繼足して行く、上部のエアロックは徑72吋、長さ128 $\frac{1}{2}$ 吋である。

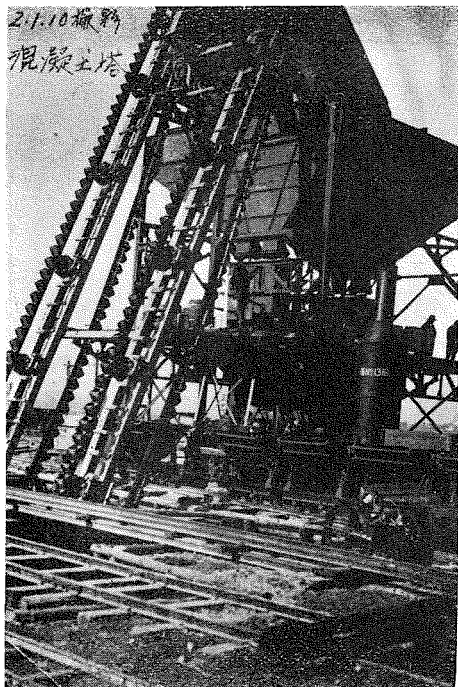
ケーソンのエアチャンパーに空気を送るパイプは假棧橋上に敷設せるメンパイプよりゴム管により分岐して、シャフトと併立せる送氣管に連絡する。

メインパイプはコンプレツサー室より10吋管より漸次 2吋宛管徑を縮少して棧橋全長に敷設して最端は管徑 6吋にて留る。

尚ほメインパイプの外に棧橋全長に管徑 3吋の高壓管を敷設して低壓のメインパイプと連絡してある。

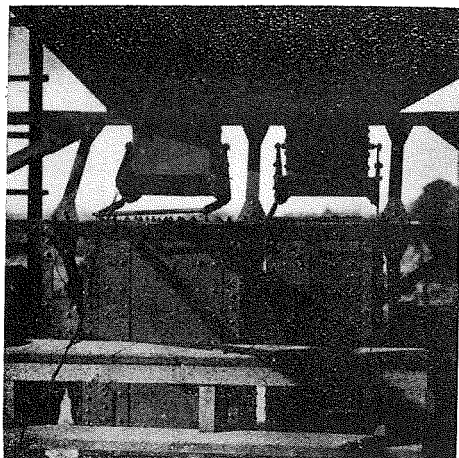
メインパイプ低壓はニューマチックケーソン用にして 3吋の高壓管はリベツチング其他工作用である。





(27) 混泥土塔の景 (2-1-10)
 (27) Measuring Boxes and Elevators for
 Concrete Mixing.

28圖砂利、砂はダンプカーにて運んで來ると、軌條下のビンに一旦放下される、此のビンに放出口があつてバケツトエレベーターのバケツトに注ぎ込む様になつてをる。寫眞は今ビンの出口をあけてバケツトに入れてをる處。之よりバケツトエレベーターにて塔上のビンに運び込むのである。

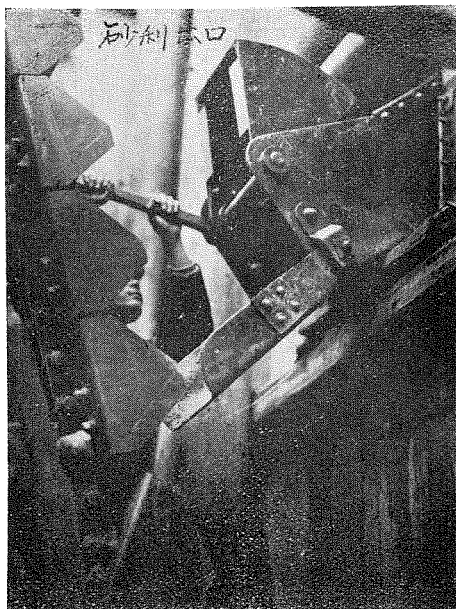


(28) 砂利出口 (2-1-10)
 (28) View of Gravel Bin Gate.

27圖コンクリート用の砂利と砂とは此のミジュアリングボックスにて容積を一定に量りてミキサーに入れる様になつてをる。

寫眞に見ゆる左右二列のバケツトエレベーターにて砂と砂利を塔上のビンに運び込む。

ビンの下には左右兩側にミジュアリングボックス二個宛あつて28切練のミキサーが2臺ある。ミキサーはスチームボイラーにて運轉する。



(29) ミージュアリングボックス (2-1-10)
 (29) Gravel Bin on the Left and Sand
 Bin on the Right, Measuring Boxes
 Below.

29圖寫眞は上部がコンクリート塔のビンで、ビンの出口が二個、出口の下はミージュアリングボックスで、左の大形は砂利、右の小形は砂を何れも一定の配合容積に満つるを待つて下段のミキサー(寫眞に見えず)に入れる様になつてをる。